

スコアシート記入法(抜粋)

2015~バスケットボール競技規則において、下記のように記入することとなりました。

5. タイム・アウト (競技規則 P. 102)

タイム・アウトは、次のように記録する。

5.3 後半(第3ピリオドと第4ピリオド)にタイム・アウトが認められたときは、次の3個の枠に左から順に経過時間の数字を記入していく。

第4ピリオドの最後の2分までに、チームに後半の最初のタイム・アウトが認められなかったときは、そのチームの後半の最初の枠(後半の左端の枠)に2本の横線をひく。

==	9	==
----	---	----

6. ファウル (競技規則 P. 104~)

6.3 ファウルは、次のように記録する。

6.3.3 アンスポーツマンライク・ファウルは“U”と記入する。

2回目のアンスポーツマンライク・ファウルが記録されてそのプレイヤーが失格・退場となった場合は、すぐとなりの枠に“GD”を記入する。

U ₂	P	U ₂	GD	
----------------	---	----------------	----	--

そのアンスポーツマンライク・ファウルがそのプレイヤーの5回目のファウルだった場合は、最後の枠のとなり(欄外)に“GD”を記入する。

P	P ₃	U ₁	P ₁	U ₂	GD
---	----------------	----------------	----------------	----------------	----

6.3.4 プレイヤーのテクニカル・ファウル、それぞれの交代要員に記録されるテクニカル・ファウルは“T”と記入する。

2回目のテクニカル・ファウルが記録されてそのプレイヤーが失格・退場となった場合は、すぐとなりの枠に“GD”を記入する。

T ₁	P	T ₁	GD	
----------------	---	----------------	----	--

そのテクニカル・ファウルがそのプレイヤーの5回目のファウルだった場合は、最後の枠のとなり(欄外)に“GD”を記入する。

P	P ₃	T ₁	P ₁	T ₁	GD
---	----------------	----------------	----------------	----------------	----

6.3.5 チーム・ベンチ・パーソネルによる、コーチに記録されるテクニカル・ファウルは、次のように記録する。

6.3.5.3 第38条 38.3.3-(1)の規定でコーチが失格・退場となった場合は、残りの枠あるいは最後の枠のとなり(欄外)に“GD”を記入する。

コーチ	C ₁	C ₁	GD
A・コーチ			

コーチ	C ₁	B ₁	B ₁	GD
A・コーチ				